

洞爺カルデラ洞爺火砕流堆積物分布図の修正について

<経緯と概要>

2025 年 3 月 31 日に出版した洞爺カルデラ洞爺火砕流堆積物分布図において、複数の修正を要する点を認識したことから、5 月 15 日に公開を停止し、再度の現地調査を踏まえ修正を行った。主たる修正箇所は以下の通りである。1) 一部地域の編纂を 1950 年代作成の 5 万分の 1 地質図幅を基に行っていたが、より新しいデータが存在するとの外部からの指摘を受けたため、再度の現地調査を実施し、その結果を踏まえて分布範囲と層厚を修正した。2) 確実度の低い地形読み取りにより推定した層厚データを削除し、確実度の高い実測値・文献値のみを層厚データとして記載するように修正した。さらに、データの種類ごとに凡例を再区分した。3) これらを踏まえ、上面高度図の等高線を再作成した。

<修正の箇所>

1. 洞爺火砕流堆積物分布図(図面)

(1) 岩内平野北東部およびその周辺地域について、1950 年代の古い地質図の記載に基づき洞爺火砕流堆積物と解釈した部分について、外部からの指摘により再調査を行ったところ、火砕流堆積物が現存しない地域があることが明らかとなった。そのため、その地域における洞爺火砕流堆積物の分布と復元分布域の修正を行い、あわせて関連する基盤や沖積層の分布についても修正を行った。共和町周辺(岩内平野付近)の火砕流分布図の修正前後を、修正資料-図 1 に示す。また、豊浦町西部付近の洞爺火砕流堆積物の分布と復元分布域も、より新しい文献情報に基づき修正した。修正前後を修正資料-図 2 に示す。

(2) 確実度にばらつきがある層厚データを 1 つの凡例にまとめて示していたため、分布図上でデータの取得方法別に判別できるように凡例を再区分したうえ、確実度の低いデータを削除した。凡例の再区分は、現地調査による層厚データ、文献(露頭)による層厚データ、文献(ボーリングコア)による層厚データとし、それぞれ赤色、水色、黄色で表示する。確実度の低い地形からの読み取りによる層厚データはすべて削除した。これら凡例を修正資料-図 3 に示す。

(3) 層厚データの修正に伴い、上面高度図の等高線を再作成した。

(4) 視認性向上のため、後カルデラ火山(Pv)と洞爺噴火以降の火山噴出物(Yv)の色を変更した。これら凡例を修正資料-図 4 に示す。

(5) 視認性向上のため、有珠火山火口の色を変更した。

(6) 洞爺火山灰の等層厚線図の層厚データの凡例区分が細かく色の違いが分かりづらかったため、凡例区分を変更するとともに、色を変更した。

2. 同説明書

(1) 洞爺火砕流堆積物の分布や層厚を示した地点の変更に伴い、同説明書の第 1 図、第 3 図、第 4 図、第 5 図、第 6 図、第 7 図、第 8 図、第 9 図、第 10 図を修正した。

(2) 上面高度分布図(第 4 図)は、地形図から上面高度のデータを読み取り直し、等高線を新たに作成。上面高度の各ポイントの色を修正した。

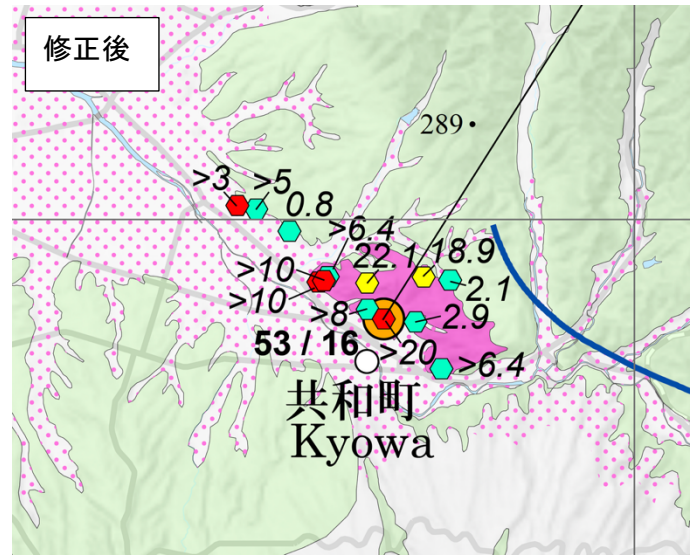
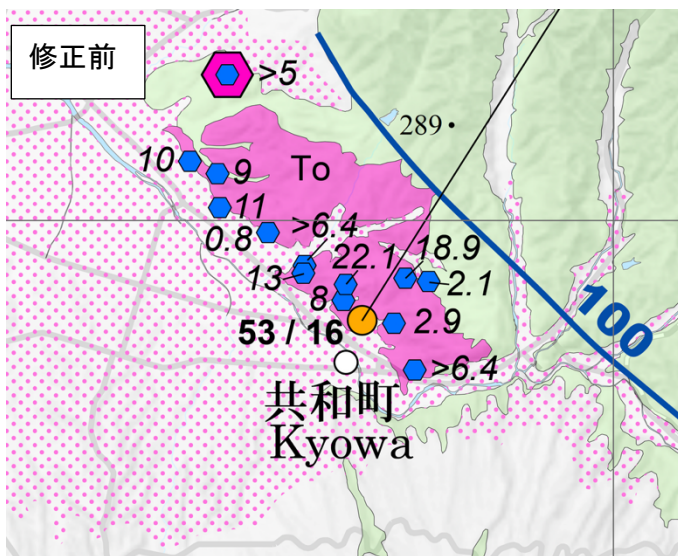
(3) 洞爺火山灰の層厚データの区分変更に伴い、第 9 図を修正した。

(4) 層厚データを示した地点について、緯度経度の位置を再確認し、もととなった文献等の情報を含めて第 1 表に取りまとめた。

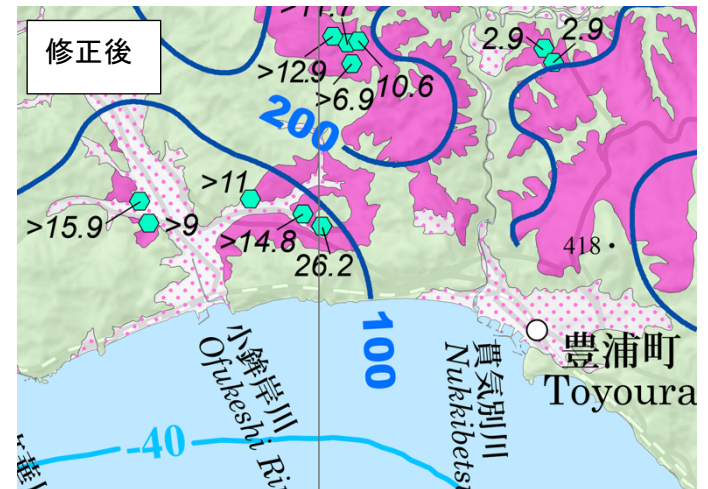
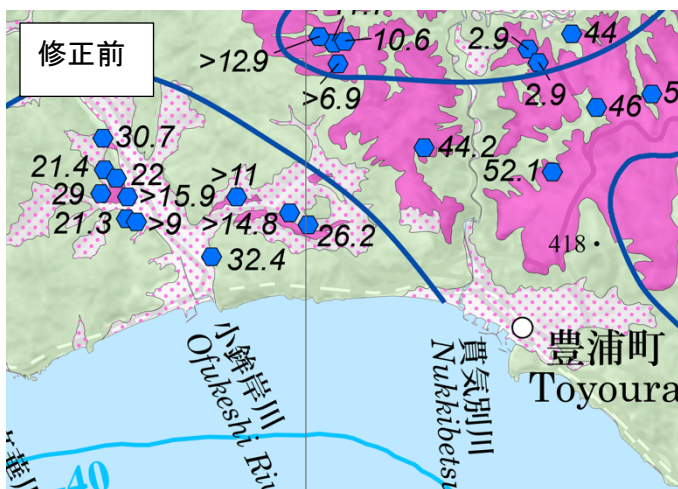
- (5) 復元分布図(第 10 図)の推定分布域の色を変更した。
- (6) 本文の記述内容を再吟味の上、修正した。
- (7) 引用文献に層厚データの文献等を追加した。

3. 備考

洞爺カルデラ洞爺火砕流堆積物分布図をダウンロードする際は、上記の修正箇所を記した本資料も、同時にダウンロードされる。



修正資料-図 1. 洞爺カルデラ洞爺火砕流分布図の修正箇所 1. 共和町周辺を含む岩内平野付近



修正資料-図 2. 洞爺カルデラ洞爺火砕流分布図の修正箇所 2. 豊浦町西部付近

修正前	修正後
<div>● 42</div> 洞爺火砕流堆積物の現存層厚（ボーリングコア，現地調査及び文献資料による 層厚：m） Existing thickness observation point of Toya Ignimbrite based on borehole, field survey, and references (thickness: m)	<div>● >5</div> 洞爺火砕流堆積物の層厚（現地調査による．層厚：m） Thickness of Toya Ignimbrite based on field survey (thickness: m) <div>● 17</div> 洞爺火砕流堆積物の層厚（文献（露頭）による．層厚：m） Thickness of Toya Ignimbrite based on references (outcrop) (thickness: m) <div>● 42</div> 洞爺火砕流堆積物の層厚（文献（ボーリングコア）による．層厚：m） Thickness of Toya Ignimbrite based on references (borehole) (thickness: m)

修正資料-図 3. 凡例の修正箇所 1. 層厚は凡例を 3 つに再区分したうえ，確実度の低いデータを削除．

修正前	修正後
<div>Yv</div> 恵庭火山，羊蹄火山，尻別火山，ニセコ火山群，倶多楽火山群，支笏火砕流堆積物，倶多楽火砕流堆積物及び喜茂別火砕流堆積物 Eniwa Volcano, Yotei Volcano, Shiribetsu Volcano, Niseko Volcano Group, Kuttara Volcano Group, Shikotsu Ignimbrite, Kuttara Ignimbrite and Kimobetsu Ignimbrite	<div>Yv</div> 恵庭火山，羊蹄火山，尻別火山，ニセコ火山群，倶多楽火山群の噴出物，支笏火砕流堆積物，倶多楽火砕流堆積物及び喜茂別火砕流堆積物 Products of Eniwa Volcano, Yotei Volcano, Shiribetsu Volcano, Niseko Volcano Group, Kuttara Volcano Group, Shikotsu Ignimbrite, Kuttara Ignimbrite and Kimobetsu Ignimbrite
<div>Pv</div> 後カルデラ火山噴出物（有珠火山及び中島火山） Post-caldera eruption products (Usu Volcano and Nakajima Volcano)	<div>Pv</div> 後カルデラ火山噴出物（有珠火山及び中島火山） Post-caldera eruption products (Usu Volcano and Nakajima Volcano)

修正資料-図 4. 凡例の修正箇所 2. 視認性の向上のため色調を変更．